



環境省



環境政策を支える

# 環境研究総合推進費

ENVIRONMENT RESEARCH & TECHNOLOGY DEVELOPMENT FUND



# 環境研究総合推進費とは

## ●目的

### 研究開発により環境政策の推進に寄与

環境研究総合推進費（以下「推進費」という。）は、地球温暖化の防止、循環型社会の実現、自然環境との共生、環境リスク管理等による安全の確保など、持続可能な社会構築のための環境政策の推進にとって不可欠な科学的知見の集積及び技術開発の促進を目的として、環境分野のほぼ全領域にわたる研究開発を実施しています。

## ●特徴

### 環境省が必要とする研究テーマ（行政ニーズ）に合致する研究開発を採択・実施

推進費は、環境省が必要とする研究テーマ（以下「行政ニーズ」という。）を提示して公募を行い、広く産学民官の研究機関の研究者から提案を募り、評価委員会及び領域毎の研究部会の審査を経て採択された課題を実施する、環境政策貢献型の競争的資金です。

環境省がトップダウン的に研究テーマや研究リーダー等の大枠を決めた上で、研究チームを競争的に選定するシステム（戦略的研究開発領域Ⅰ、Ⅱ）を設けるなど、行政ニーズに立脚した戦略的な研究開発を強力に推進します。

### 外部委員の評価により制度運営の透明性・公平性・効率性を確保

推進費において、事前評価（採択時審査）、中間評価、事後評価を行う評価委員会・研究部会は外部専門家・有識者等からなり、各研究課題は、必要性・有効性・効率性・経費の妥当性等の観点から審査されます。

事前評価の結果に基づいて新規課題の採否を決定し、中間評価の結果に基づいて次年度予算額の増減を決定するなど、透明かつ公平で効率的な制度運用に努めています。

## ●研究の対象領域

平成28年度から、「環境研究・環境技術開発の推進戦略について」（平成27年8月中央環境審議会答申）の構成に沿った、以下の5領域構成としました。

### ・統合領域（第1部会）

持続可能な社会の実現に向けたビジョン・理念の提示、持続可能な社会の実現に向けた価値観・ライフスタイルの変革、環境問題の解決に資する新たな技術シーズの発掘・活用、災害・事故に伴う環境問題への対応に貢献する研究・技術開発 等

### ・低炭素領域（第2部会）

低炭素で気候変動に柔軟に対応する持続可能なシナリオづくり、気候変動への適応策に係る研究・技術開発、地球温暖化現象の解明・予測・対策評価 等

### ・資源循環領域（第3部会）

3Rを推進する技術・社会システムの構築、廃棄物の適正処理と処理施設の長寿命化・機能向上に資する研究・技術開発、バイオマス等の廃棄物からのエネルギー回収を推

進する技術・システムの構築 等

### ・自然共生領域（第4部会）

生物多様性の保全とそれに資する科学的知見の充実に向けた研究・技術開発、森・里・川・海のつながりの保全・再生と生態系サービスの持続的な利用に向けた研究・技術開発 等

### ・安全確保領域（第5部会）

化学物質等の包括的なリスク評価・管理の推進に係る研究、大気・水・土壌等の管理・改善のための対策技術の高度化及び評価・解明に関する研究 等

※エネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出抑制に資する技術開発等は、エネルギー対策特別会計により別途実施されているため、推進費の対象には含まれません。

推進費の制度や公募の情報については以下の環境省HPで、

<http://www.env.go.jp/policy/kenkyu/index.html>

<http://www.env.go.jp/policy/kenkyu/suishin/gaiyou/index.html>

また公募情報については、独立行政法人環境再生保全機構環境研究総合推進費HPで公開しています。

<https://www.erca.go.jp/suishinhi/>

### <環境研究・技術 情報総合サイトのトップページ図>



### <環境研究総合推進費のトップページ図>



## ●環境研究総合推進費の歩み

環境研究総合推進費は、平成22～23年度に、「地球環境研究総合推進費」、「環境研究・技術開発推進費」、「循環型社会形成推進科学研究費補助金」の3つの競争的研究資金を統合して創設されました。

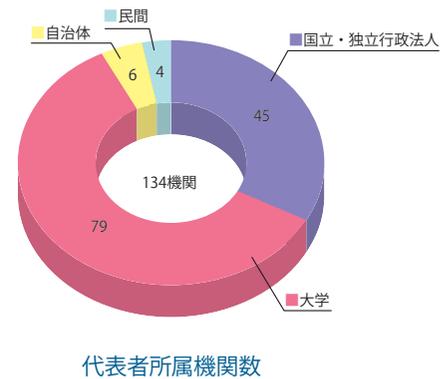
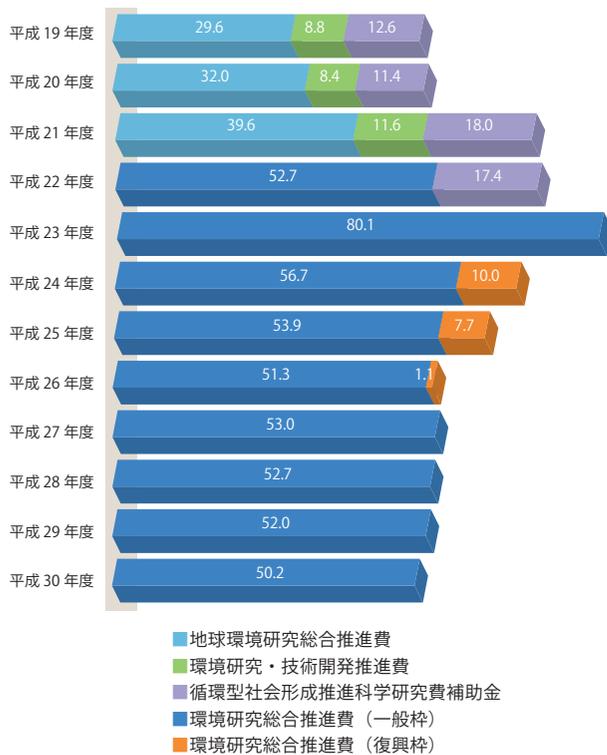
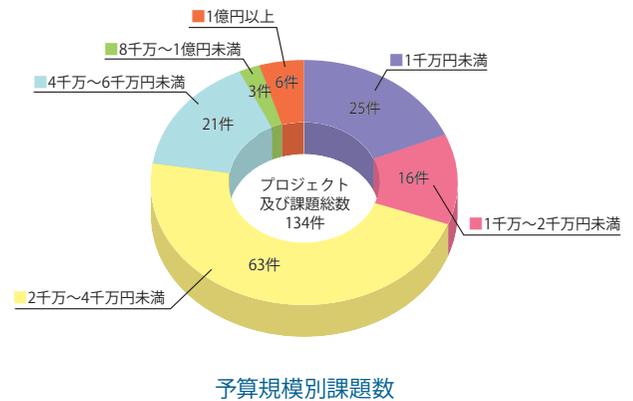
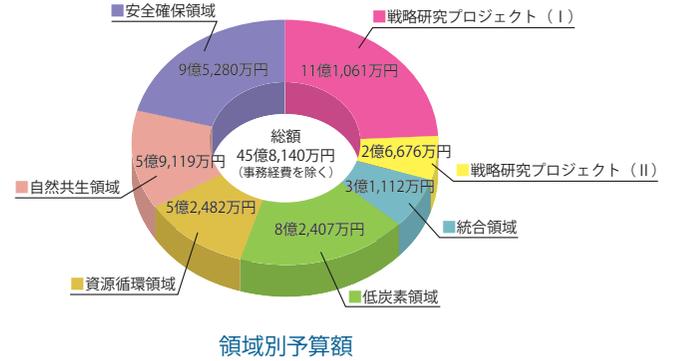
平成24年度からは、一般会計を財源とする従来の推進費による採択枠（一般枠）に加え、東日本大震災復興特別会計を財源とし、被災地域の復旧・復興及び被災者の暮らしの再生のための施策への貢献を要件とする採択枠（復興枠）を設けました。被災地の早期復興にとって不可欠な科学的知見の集積及び技術開発を推進してきました。なお、復興枠による研究課題は、平成26年度で終了しました。

また、効果的・効率的な事業の推進を図るため、平成28年10月より独立行政法人環境再生保全機構へ一部業務を移管しています。

## ●平成30年度の実施課題数及び予算額

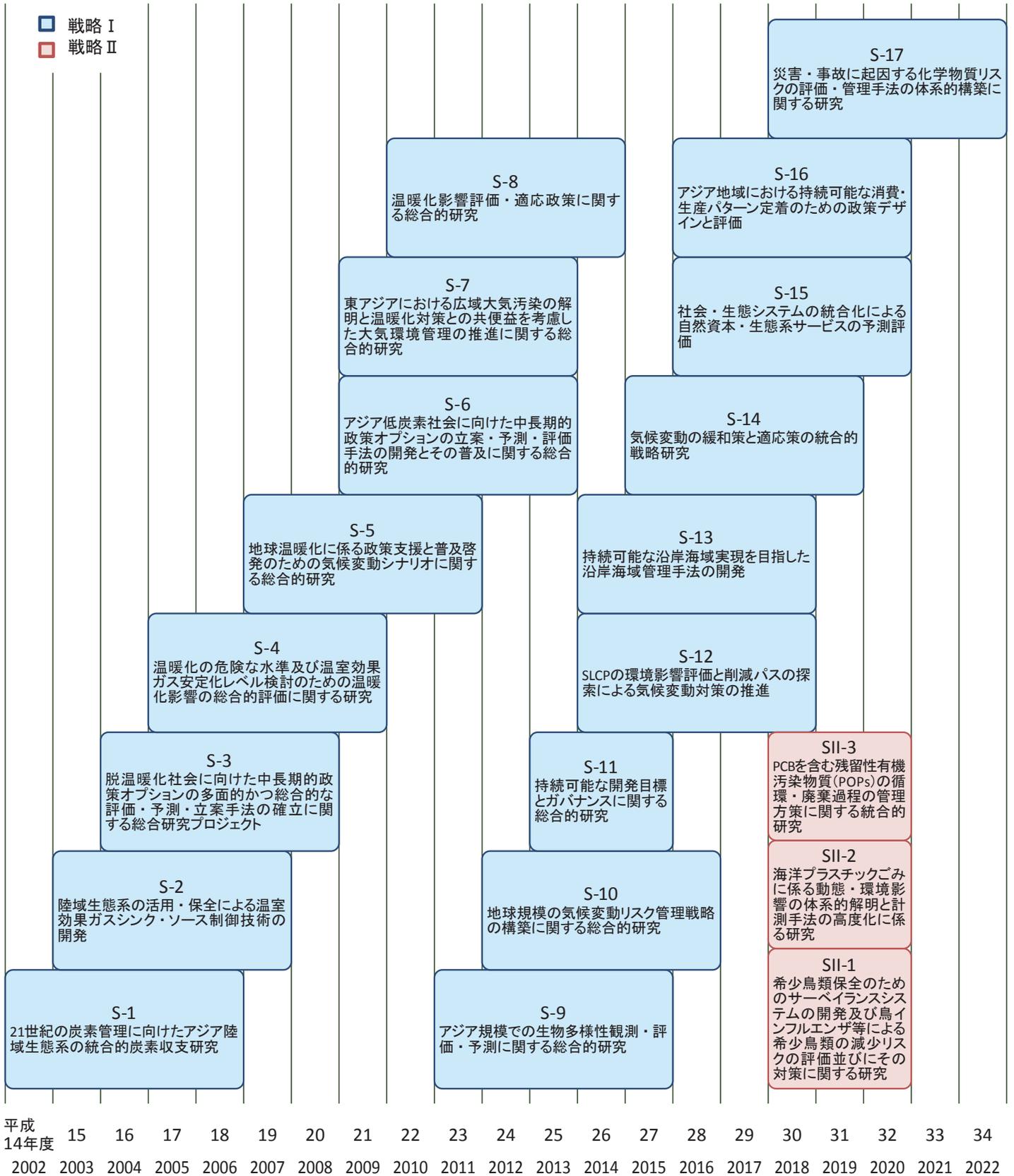
平成30年度は、「一般枠」では、継続研究課題（戦略研究プロジェクト5件、問題対応型・革新型等の個別研究課題90件）に加え、新規研究課題として、今年度より新設した戦略研究プロジェクト（II）3件を含む戦略研究プロジェクト4件と個別研究課題35課題に着手します。合わせて戦略研究プロジェクト（I）6件、（II）3件、個別研究課題125件の研究開発を実施します。

## ●平成30年度実施課題



環境省の競争的研究資金の推移 (単位: 億円)

# 戦略的研究開発領域(Ⅰ,Ⅱ) プロジェクト名及び実施状況



- 戦略研究プロジェクト(Ⅰ)：世界に先駆けて又は国際的な情勢を踏まえて、特に重点化して進めるべき大規模研究開発プロジェクト又は、個別研究の統合化・シナリオ化を行うことにより先導的な成果を上げることが期待される統合的な大規模研究開発プロジェクト。研究期間は5年以内です。
- 戦略研究プロジェクト(Ⅱ)：国際的に先駆けて又は国内外の情勢を踏まえて、特に短期間で重点的に進めるべき中規模の研究プロジェクト。研究期間は3年以内です。

# 平成30年度実施研究課題リスト

課題番号／研究代表者／研究代表者所属機関／研究期間(予定)  
研究課題名

## 戦略研究プロジェクト(I) 計6プロジェクト

- S-12/中島 映至/(国研)宇宙航空研究開発機構/H26~H30  
SLCPの環境影響評価と削減パスの探索による気候変動対策の推進
- S-13/柳 哲雄/(公財)国際エメックスセンター/H26~H30  
持続可能な沿岸海域実現を目指した沿岸海域管理手法の開発
- S-14/沖 大幹/東京大学/H27~H31  
気候変動の緩和策と適応策の統合的戦略研究
- S-15/武内 和彦/東京大学/H28~H32  
社会・生態システムの統合化による自然資本・生態系サービスの予測評価
- S-16/平尾 雅彦/東京大学/H28~H32  
アジア地域における持続可能な消費・生産パターン定着のための政策デザインと評価
- S-17/鈴木 規之/(国研)国立環境研究所/H30~H34  
災害・事故に起因する化学物質リスクの評価・管理手法の体系的構築に関する研究

## 戦略研究プロジェクト(II) 計3プロジェクト

- S II-1/羽山 伸一/日本獣医生命科学大学/H30~H32  
希少鳥類保全のためのサーベイランスシステムの開発及び鳥インフルエンザ等による希少鳥類の減少リスクの評価並びにその対策に関する研究
- S II-2/磯辺 篤彦/九州大学/H30~H32  
海洋プラスチックごみに係る動態・環境影響の体系的解明と計測手法の高度化に係る研究
- S II-3/酒井 伸一/京都大学/H30~H32  
PCBを含む残留性有機汚染物質(POPs)の循環・廃棄過程の管理方針に関する統合的研究

## 統合領域 計15課題

- 1-1601/大迫 政浩/(国研)国立環境研究所/H28~H30  
循環型社会政策の効果評価と導入支援のための資源利用・廃棄物処理モデルの構築
- 1-1602/海津 裕/東京大学/H28~H30  
フィールド調査とロボット・センサ・通信技術をシームレスに連結する水域生態系モニタリングシステムの開発
- 1-1603/蛭江 美孝/(国研)国立環境研究所/H28~H30  
総合的アプローチによる東南アジア地域での分散型生活排水処理システムの普及に関する研究
- 1-1604/藤谷 泰裕/(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所/H28~H30  
ミズアブの機能を活用した革新的資源循環系の構築
- 1RF-1602/井上 一雅/首都大学東京/H28~H30  
多チャンネル放射能深度分布測定器の実用化とIn-situ測定法の確立
- 1-1701/高橋 嘉夫/東京大学/H29~H30  
バライト共沈を用いた放射性核種の除去および固定化に関する研究
- 1-1702/米田 稔/京都大学/H29~H31  
放射性CsやSrで汚染された廃棄物の中間貯蔵と最終処分のための安定化技術に関する研究
- 1-1703/吉田 謙太郎/(公財)地球環境戦略研究機関/H29~H31  
企業活動による生物多様性の影響評価のための指標と経済評価手法、及びモデルの開発に関する研究
- 1RF-1701/川久保 俊/法政大学/H29~H31  
ポスト2015年開発アジェンダの地域実装に関する研究
- 1RF-1702/桑原 彬/(国研)日本原子力研究開発機構/H29~H30  
高温プラズマ中でのレーザー分光を利用した全試料対応型の万能分析法の開発
- 1-1801/藤田 壮/(国研)国立環境研究所/H30~H32  
SDGs目標達成に向けた統合的実施方法の包括的検討

- 1-1802/山澤 弘実/名古屋大学/H30~H32  
原子力事故データの総合解析による事故時の有害物質大気中動態評価法の高度化
- 1-1803/多島 良/(国研)国立環境研究所/H30~H32  
災害廃棄物対応力向上のための中小規模自治体向けマネジメント手法の開発
- 1-1804/兼子 伸吾/福島大学/H30~H32  
放射能汚染地域の生物で利用可能な遺伝的影響評価法の開発
- 1-1805/竹下 健二/東京工業大学/H30~H32  
汚染土壌浄化・再利用と廃棄物高減容化を目指した亜臨界水処理システムの開発

## 低炭素領域 計27課題

- 2-1601/天野 正博/早稲田大学/H28~H30  
森林と農地間の土地利用変化に伴う土壌炭素変動量評価とGHGインベントリーへの適用研究
- 2-1602/谷田貝 亜紀代/弘前大学/H28~H30  
極端降水評価と気象解析のためのAPHRODITEアルゴリズムの改良
- 2-1603/柳 憲一郎/明治大学/H28~H30  
二酸化炭素回収・貯留(CCS)の導入・普及の法的枠組みと政策戦略に関する研究
- 2-1604/荒巻 能史/(国研)国立環境研究所/H28~H30  
温暖化に対して脆弱な日本海の循環システム変化がもたらす海洋環境への影響の検出
- 2-1605/齊藤 和之/(国研)海洋研究開発機構/H28~H30  
永久凍土大規模融解による温室効果ガス放出量の現状評価と将来予測
- 2RF-1601/加藤 知道/北海道大学/H28~H30  
太陽光誘発クロロフィル蛍光による生態系光合成量推定のための包括的モデルの構築
- 2-1701/三枝 信子/(国研)国立環境研究所/H29~H31  
温室効果ガスの吸排出量監視に向けた統合型観測解析システムの確立
- 2-1702/高橋 潔/(国研)国立環境研究所/H29~H31  
パリ協定気候目標と持続可能開発目標の同時実現に向けた気候政策の統合分析
- 2-1703/小池 真/東京大学/H29~H31  
地球温暖化に関わる北極ブラックカーボンとダスト粒子の動態と放射効果
- 2-1704/杉山 昌広/東京大学/H29~H31  
日本における長期地球温暖化対策経路の複数モデルを用いた評価と不確実性の分析
- 2-1705/梁 乃申/(国研)国立環境研究所/H29~H31  
アジアの森林土壌有機炭素放出の温暖化影響とフィードバック効果に関する包括的研究
- 2-1706/加藤 博和/名古屋大学/H29~H31  
再生可能都市への転換戦略—気候変動と巨大自然災害にシなやかに対応するために—
- 2-1707/有村 俊秀/早稲田大学/H29~H31  
カーボンプライシングの事後評価と長期的目標実現のための制度オプションの検討
- 2-1708/大場 真/(国研)国立環境研究所/H29~H31  
適応策立案支援のための地域環境を考慮した多面的脆弱性評価手法の開発
- 2-1709/秋吉 英治/(国研)国立環境研究所/H29~H31  
HFCと温室効果ガス削減対策のオゾン層回復に対する有効性評価に関する研究
- 2-1710/伊藤 昭彦/(国研)国立環境研究所/H29~H31  
メタンの合理的排出削減に資する東アジアの起源別収支監視と評価システムの構築

- 2-1711 / 芦名 秀一 / (国研) 国立環境研究所 / H29~H31  
資源・エネルギーの統合利用による「低炭素型地域再構築」の計画分析モデル開発と実証
- 2-1712 / 森 信人 / 京都大学 / H29~H31  
グリーンインフラを用いた気候変動に伴う沿岸災害の減災評価手法の開発
- 2RF-1701 / 小玉 知央 / (国研) 海洋研究開発機構 / H29~H31  
全球非静力学モデルを用いたアジア域におけるスーパー台風の温暖化応答に関する研究
- 2-1801 / 亀山 康子 / (国研) 国立環境研究所 / H30~H32  
世界の気候変動影響が日本の社会・経済活動にもたらすリスクに関する研究
- 2-1802 / 齋藤 尚子 / 千葉大学 / H30~H32  
GOSAT-2と地上観測による全球のメタン放出量推定と評価手法の包括的研究
- 2-1803 / 谷本 浩志 / (国研) 国立環境研究所 / H30~H32  
ブラックカーボンおよびメタンの人為起源排出量推計の精緻化と削減感度に関する研究
- 2-1804 / 本藤 祐樹 / 横浜国立大学 / H30~H32  
2050年の社会像を見据えた再生可能エネルギー利用拡大への道筋
- 2-1805 / 松橋 啓介 / (国研) 国立環境研究所 / H30~H32  
気候変動影響・適応評価のための日本版社会経済シナリオの構築
- 2RF-1801 / 近藤 亮太 / 関西大学 / H30~H32  
中規模輸送・長期保存用水素貯蔵材料の開発
- 2RF-1802 / 花崎 直太 / (国研) 国立環境研究所 / H30~H32  
企業の温暖化適応策検討支援を目的とした公開型世界リスク評価ツールの開発
- 2RF-1803 / 栗林 正俊 / 長野県環境保全研究所 / H30~H32  
超高解像度気候予測値を用いた森林生態系の炭素収支の将来予測と森林管理の効果の評価

## 資源循環領域

計30課題

- 3K163001 / 橋本 征二 / 立命館大学 / H28~H30  
循環型社会形成に関わる新たな評価指標と指標体系
- 3K163003 / 平田 滋樹 / 長崎県農林部農林技術開発センター / H28~H30  
イノシシ、ニホンジカ等の適正かつ効率的な捕獲個体の処理および完全活用システムの開発
- 3K163005 / 梶原 夏子 / (国研) 国立環境研究所 / H28~H30  
新規POPsを含有する廃棄物の環境上適正な管理に関する研究
- 3K163006 / 平山 修久 / 名古屋大学 / H28~H30  
防災分野と連携した大規模災害時における災害廃棄物量の推定手法の構築
- 3K163007 / 亀田 知人 / 東北大学 / H28~H30  
炭酸型Mg-Al系層状複水酸化物を利用した廃棄物焼却排ガスの新規処理技術の開発
- 3K163009 / 浅利 美鈴 / 京都大学 / H28~H30  
災害廃棄物処理の実効性・安全性・信頼性向上に向けた政策・意識行動研究
- 3K163010 / 成田 弘一 / (国研) 産業技術総合研究所 / H28~H30  
硝酸性窒素等の有害物を排出しない白金族リサイクルプロセスの開発
- 3K163011 / 中野 正樹 / 名古屋大学 / H28~H30  
大規模災害における廃棄物の災害外力・地域特性に応じた処理技術・管理システムに関する研究
- 3-1701 / 高岡 昌輝 / 京都大学 / H29~H31  
廃水銀処理物の長期適正管理のための地上保管対策に関する研究
- 3-1702 / 遠藤 和人 / (国研) 国立環境研究所 / H29~H30  
廃石膏ボードリサイクルの品質管理の在り方と社会実装
- 3-1703 / 高巢 幸二 / 北九州市立大学 / H29~H31  
セメントフリーコンクリートを実現するフライアッシュの高度資源化技術の開発
- 3-1704 / 近藤 康之 / 早稲田大学 / H29~H31  
行政報告データ等の活用による自治体レベルの物質循環分析手法の開発と応用

- 3-1705 / 八尾 滋 / 福岡大学 / H29~H31  
廃プラスチックの高付加価値化リサイクル技術創製および実用化研究
- 3-1706 / 遠藤 貴士 / (国研) 産業技術総合研究所 / H29~H31  
ナノセルロース系廃材を利用したリサイクル樹脂の改質
- 3-1707 / 勝見 武 / 京都大学 / H29~H31  
安全で長寿命化に資する安定型処分場の試験・設計方法に関する研究
- 3-1708 / 大和田 秀二 / 早稲田大学 / H29~H31  
PV・液晶等積層型難処理パネルの合理的リサイクル技術の開発
- 3-1709 / 藤井 実 / (国研) 国立環境研究所 / H29~H31  
廃棄物の高度な地域熱利用のための技術・社会システムに関する研究
- 3-1710 / 後藤 雅宏 / 九州大学 / H29~H31  
有機溶媒を用いない環境調和型のレアメタル高効率リサイクルシステムの開発
- 3-1711 / 加茂 徹 / (国研) 産業技術総合研究所 / H29~H30  
二段低温ガス化法によるCFRPからの炭素繊維の回収
- 3RF-1701 / 熊谷 将吾 / 東北大学 / H29~H30  
塩ビ被覆鋼線から銅および塩ビを高度に回収する新規塩ビ剥離技術の開発
- 3J173001 / 島岡 隆行 / 九州大学 / H29~H31  
震災からの迅速復旧のためのレジリエントな最終処分場の実用化
- 3J173002 / 大峠 慎二 / トクラス株式会社 / H29~H31  
容器リサイクル樹脂を利用したWPC用表面処理木粉の開発
- 3-1801 / 中谷 隼 / 東京大学 / H30~H32  
先端的な再生技術の導入と動脈産業との融合に向けたプラスチック循環の評価基盤の構築
- 3-1802 / 山田 正人 / (国研) 国立環境研究所 / H30~H32  
遮断型最終処分場の長期的な環境安全性の評価に関する研究
- 3-1803 / 東條 安匡 / 北海道大学 / H30~H32  
指定廃棄物熱処理残渣中セシウムのアルミノ珪酸塩による捕捉・難溶性態化技術の確立
- 3-1804 / 肴倉 宏史 / (国研) 国立環境研究所 / H30~H32  
物理選別とエージングを組み合わせた「焼却主灰グリーン改質技術」の確立
- 3-1805 / 山川 肇 / 京都府立大学 / H30~H32  
SDGs12.3指標の提案に向けた食品ロスの実態の解明
- 3RF-1801 / 椿 俊太郎 / 東京工業大学 / H30~H32  
マイクロ波加熱を利用した未利用バイオマスの高速炭化システムの開発
- 3RF-1802 / 麻生 隆彬 / 大阪大学 / H30~H32  
セルロース繊維強化バイオマスプラスチックの開発
- 3RF-1803 / 田村 正純 / 東北大学 / H30~H32  
廃プラスチックからの選択的有用化学品合成を可能にする固体触媒プロセスの開発

## 自然共生領域

計21課題

- 4-1601 / 矢原 徹一 / 九州大学 / H28~H30  
樹木の新種比率評価と森林政策評価にもとづく東南アジア熱帯林保全対策の策定
- 4-1602 / 土居 秀幸 / 兵庫県立大学 / H28~H30  
環境DNAを用いた陸水生態系種構成と遺伝的多様性の包括的解明手法の確立と実践
- 4-1604 / 牛田 一成 / 中部大学 / H28~H30  
ニホンライチョウ保護増殖に資する腸内細菌の研究
- 4-1605 / 井鷲 裕司 / 京都大学 / H28~H30  
遺伝情報解読ブレイクスルーを活用した「種の保存法」指定種の最適保全管理
- 4-1606 / 永田 尚志 / 新潟大学 / H28~H30  
トキの野生復帰のための放鳥個体群・里山の手続手法と持続可能な地域社会モデルの研究
- 4-1701 / 五箇 公一 / (国研) 国立環境研究所 / H29~H31  
農業によるトンボ類生態影響実態の科学的解明および対策
- 4-1702 / 瀬戸口 浩彰 / 京都大学 / H29~H31  
希少植物の自生地復元に向けた問題解決と基盤整備

- 4-1703/岡本 裕之/(国研)水産研究・教育機構/H29~H31  
遺伝子制圧技術による外来魚の根絶のための実証魚の開発
- 4-1704/横山 真弓/兵庫県立大学/H29~H31  
異質環境下におけるシカ・イノシシの個体数推定モデルと持続可能な管理システムの開発
- 4-1705/西廣 淳/東邦大学/H29~H31  
湿地の多面的価値評価軸の開発と広域評価に向けた情報基盤形成
- 4-1706/沖 一雄/東京大学/H29~H31  
地上・リモートセンシングによる尾瀬ヶ原湿原におけるシカ個体数推定手法の開発
- 4-1707/城ヶ原 貴通/宮崎大学/H29~H31  
奄美・琉球における遺産価値の高い森林棲絶滅危惧種に対応する保全技術開発
- 4RF-1701/和田 茂樹/筑波大学/H29~H31  
海洋酸性化が生態系サービスに及ぼす影響-未来の海:CO<sub>2</sub>シープを利用した解析-
- 4-1801/田中 周平/京都大学/H30~H32  
特定外来種オオバナミズキンバイの拡大防止策と効果的防除手法の開発
- 4-1802/久保田 康裕/琉球大学/H30~H32  
環境変動に対する生物多様性と生態系サービスの応答を考慮した国土の適応的保全計画
- 4-1803/関島 恒夫/新潟大学/H30~H32  
洋上風力発電所の建設から主要な海鳥繁殖地を守るセンシティビティマップの開発
- 4-1804/小高 信彦/(国研)森林研究・整備機構/H30~H32  
世界自然遺産のための沖縄・奄美における森林生態系管理手法の開発
- 4-1805/中村 太士/北海道大学/H30~H32  
グリーンインフラと既存インフラの相補的役割-防災・環境・社会経済面からの評価
- 4-1806/藤村 弘行/琉球大学/H30~H32  
サンゴの白化現象メカニズム究明と大規模白化に対する生物化学的防除・救済策の確立
- 4RF-1801/遠藤 圭太/(国研)森林研究・整備機構/H30~H32  
小笠原諸島の植生回復を目指した絶滅危惧種オガサラグワのEx situ保存技術の開発
- 4RF-1802/中山 翔太/北海道大学/H30~H32  
小笠原諸島における殺鼠剤散布が野生動物に及ぼす影響の解明

## 安全確保領域

## 計32課題

- 5-1601/茶谷 聡/(国研)国立環境研究所/H28~H30  
大気中の二次汚染物質に対する発生源寄与推計と対策立案に資する規範的モデルの確立
- 5-1602/西野 貴裕/(公財)東京都環境公社東京都環境科学研究所/H28~H30  
多種・新規化学物質の網羅的モニタリングと地域ネットワークを活用した統合的評価・管理手法の開発
- 5-1603/片山 浩之/東京大学/H28~H30  
水系感染微生物による水環境汚染の把握と微生物起源解析の活用に関する研究
- 5-1604/長田 和雄/名古屋大学/H28~H30  
都市型PM2.5の高濃度化現象の原因解明と常時監視データ補正法
- 5-1605/梶野 瑞王/気象庁気象研究所/H28~H30  
PM2.5の成分組成、酸化能、呼吸器疾患ハザードとそのモデル予測に関する研究
- 5-1606/橋本 洋平/東京農工大学/H28~H30  
機器分析と溶出特性化試験を組合せた自然・人為由来汚染土壌の判定法の開発
- 5-1607/早川 和秀/滋賀県琵琶湖環境科学センター/H28~H30  
琵琶湖における有機物収支の把握に関する研究
- 5-1651/奥田 知明/慶應義塾大学/H28~H30  
新規採取法及び細胞・動物曝露実験によるPM2.5の健康影響決定要因の同定
- 5-1652/森 千里/千葉大学/H28~H30  
血中POPsの迅速一斉分析法を用いたヒトへの曝露起源解析

- 5-1653/越後 信哉/国立保健医療科学院/H28~H30  
変換過程を考慮した人為由来化学物質の管理手法に関する研究
- 5-1654/中村 裕之/金沢大学/H28~H30  
乳幼児のアレルギー症に対するパラベン・トリクロサン等の抗菌性物質の曝露・影響評価
- 5RF-1602/大平 慎一/熊本大学/H28~H30  
土壌からの六価クロム溶出速度に基づく自然由来・人為由来の判定法の開発
- 5-1701/小林 剛/横浜国立大学/H29~H31  
土壌・地下水中のクロロエチレン等の分解・吸脱着等挙動解析と汚染状況評価技術の開発
- 5-1702/丸本 幸治/国立水俣病総合研究センター/H29~H30  
海洋における無機水銀のメチル化反応と水銀化合物の生物蓄積動態の把握及びモデル化
- 5-1703/清家 伸康/(国研)農業・食品産業技術総合研究機構/H29~H31  
農薬の後作物残留を未然に防止する登録制度の提案
- 5-1704/野田 和俊/(国研)産業技術総合研究所/H29~H31  
水銀を利用する環境とその周辺における水銀ばく露測定システムの開発
- 5-1705/鈴木 剛/(国研)国立環境研究所/H29~H31  
非意図的に副生成する臭素系ダイオキシン類の包括的なリスク管理とTEF提示
- 5-1706/栗栖 太/東京大学/H29~H31  
水環境保全に向けた要調査項目の一斉評価手法の開発と要調査項目候補選定への展開
- 5-1707/今泉 圭隆/(国研)国立環境研究所/H29~H31  
過酸化水素の時空間分布予測のための多媒体モデル構築に関する研究
- 5-1708/木本 政義/(一財)電力中央研究所/H29~H31  
大型ばい煙発生施設の排煙処理装置におけるPM2.5の除去特性に関する研究
- 5-1709/竹川 暢之/首都大学東京/H29~H31  
高感度分析技術に基づく空港周辺における超微小粒子状物質の動態解明
- 5-1710/坂本 慎一/東京大学/H29~H31  
風力発電施設等の騒音に含まれる純音性成分による不快感の評価手法の研究
- 5-1751/高見 昭憲/(国研)国立環境研究所/H29~H31  
微小(PM2.5)及び粗大粒子状物質が脳卒中発症や死亡に及ぼす短期曝露影響に関する研究
- 5-1752/仲井 邦彦/東北大学/H29~H31  
小児特有の化学物質複合曝露メカニズム解明とリスク管理モデルの提案
- 5-1753/荒木 敦子/北海道大学/H29~H31  
環境化学物質の複合曝露による喘息・アレルギー、免疫系へ及ぼす影響の解明
- 5RF-1701/加藤 健/茨城県工業技術センター/H29~H31  
水質保全を目指す革新的濃縮・スマートデバイス融合型コントロールシステムの開発
- 5-1801/森野 悠/(国研)国立環境研究所/H30~H32  
革新的モデルと観測・室内実験による有機エアロゾルの生成機構と起源の解明
- 5-1802/櫻井 達也/明星大学/H30~H32  
2020年船舶燃料油硫黄分規制強化による大気質改善効果の評価
- 5-1803/山本 裕史/(国研)国立環境研究所/H30~H32  
海産・汽水生物を用いた慢性毒性短期試験法の開発
- 5-1851/上島 通浩/名古屋市立大学/H30~H32  
有機リン化合物曝露評価指標としての尿中ジアルキルリン酸の有効性の検証
- 5RF-1801/岩崎 雄一/(国研)産業技術総合研究所/H30~H32  
化学物質の複合曝露による野外生態リスク評価方法の開発:水質及び底生動物調査と環境水を用いた生物応答試験の活用
- 5RF-1802/生田 昂/東京農工大学/H30~H32  
超分子修飾グラフェンを用いた有害物質の可搬型迅速モニタリング手法の開発

## 公募情報

### 公募時期

公募の予定は、独立行政法人環境再生保全機構 環境研究総合推進費ホームページ及び環境省推進費ホームページにてお知らせします。

9月～10月に公募要項を公表し、課題提案を受け付けます。

### 応募方法

課題提案に必要な資料は、独立行政法人環境再生保全機構 環境研究総合推進費ホームページからダウンロードできます。課題の申請は、「府省共通研究開発管理システム(e-Rad)」を通じて行います。

### 課題の選定

提案課題は、書類の不備や各要件のチェック後、外部の専門家・有識者等により構成される環境研究推進委員会及び各研究部会において審査を行います。審査は、書面による第1次審査を経て課題を絞り、ヒアリング形式の第2次審査により、採択課題を選定します。

採択課題の決定は、例年3月ごろです。審査結果は、審査の終了後、応募者へ送付します。

《お問い合わせ先》

## 環境省

大臣官房総合政策課環境研究技術室

〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2 TEL:03-3581-3351(代表)

<http://www.env.go.jp/policy/kenkyu/>

【企画監修】 環境省

【編集】 一般社団法人 国際環境研究協会

【刊行】 平成30年9月